

**AUTOMATIC AUCTION SYSTEM**

Patent Number: JP10063741  
Publication date: 1998-03-06  
Inventor(s): TOTSUKA TOMOKI;; KIKUCHI MASAKI;; MARUYAMA  
Applicant(s): FUJITSU GENERAL LTD  
Requested Patent: ☐ JP10063741  
Application JP19960218344 19960820  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F19/00  
EC Classification:  
Equivalents:

**Abstract**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To construct an automatic auction system enabling a buyer to know the auction time of an article required to be purchased without especially remarking it and to quickly input accurate information at the time of reserving a bid.

**SOLUTION:** While observing auction information instructed and displayed from auction operation terminals 2a, 2b,... of respective lanes by bidders, respective buyers input bid data from response terminals 1a, 1b,... to execute auction. Each buyer input the bidding data of an article required to be purchased from the terminal 1a or the like. The inputted bidding data are received by a reservation receiving device 3 and stored in a file server 4 to be a storage device. Each bidder displays auction information by an instruction from the terminal 2a or like to progress auction. In accordance with the progress of auction, each of the terminals 2a, 2b,... requests the device 3 to acquire the bidding data from the server 4, and when the article of the bidding data becomes a next auction article, informs the terminal 1a or the like inputting the article that the article is the next auction order.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 10 - 63741

(43) 公開日 平成10年(1998)3月6日

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>  
G 0 6 F 19/00

識別記号 庁内整理番号

F I  
G 0 6 F 15/28

技術表示箇所

B

審査請求 未請求 請求項の数 6

O L

(全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-218344

(22) 出願日 平成8年(1996)8月20日

(71) 出願人 000006611

株式会社富士通ゼネラル  
神奈川県川崎市高津区末長1116番地

(72) 発明者 戸塚 智己

川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士  
通ゼネラル内

(72) 発明者 菊地 正樹

川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士  
通ゼネラル内

(72) 発明者 丸山 聖

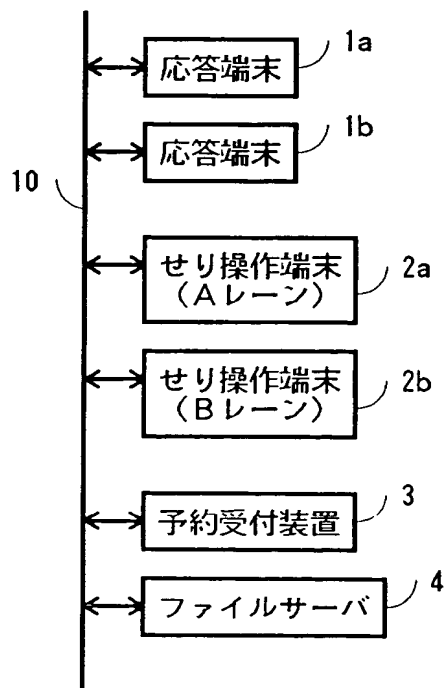
川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士  
通ゼネラル内

(54) 【発明の名称】 自動せりシステム

(57) 【要約】

【課題】 特に注意しなくとも購入希望の品目のせり時がわかるとともに、予約入札時には正確な情報を短時間に入力できる自動せりシステムを構築する。

【解決手段】 せり人が各レーンのせり操作端末 2 a、2 b、・・・から指示して表示するせり情報を見て、買参人が応札端末 1 a、1 b、・・・から入札データを入力して応札することによりせりを行う。買参人は購入希望の品目の入札データを応札端末 1 a 等から入力する。入力された入札データは、予約受付装置 3 で受け付けて、記憶装置となるファイルサーバ 4 に記憶する。せり人がせり操作端末 2 a 等から指示してせり情報を表示してせりを進行させる。せりの進行に従ってせり操作端末 2 a、2 b、・・・は、予約受付装置 3 に要求してファイルサーバ 4 から前記の入札データを取得して、同入札データの品目が次せりになると、同品目を入力した応札端末 1 a 等に次せりとなったことを知らせる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 せり人がせり操作端末から指示して表示するせり情報を見て、買参人が応札端末から入札データを入力して応札することによりせりを行う自動せりシステムにおいて、せりに先だって、複数の同応札端末から予め入力される入札データを受け付けて管理する予約受付装置と、同入札データを記憶するファイルサーバ等の記憶装置とを備え、前記せり操作端末から行うせりの進行に従って同せり操作端末が同予約受付装置から同入札データを取得して、同入札データの品目が次せりになると、同品目を入力した応札端末に次せりとなったことを知らせることを特徴とした自動せりシステム。

【請求項2】 前記応札端末に表示部を設け、同表示部に買参人が予め入力した購入希望の品目の入札データを表示し、前記次せりとなったときはその品目に対応する入札データを点滅、色替え等で表示することを特徴とした請求項1記載の自動せりシステム。

【請求項3】 前記応札端末にはブザーを設け、前記次せりとなったときは同応札端末のブザーを鳴動することを特徴とした請求項1記載の自動せりシステム。

【請求項4】 せり人がせり操作端末から指示して表示するせり情報を見て、買参人が応札端末から入札することによりせりを行う自動せりシステムにおいて、複数の同応札端末から予め入力される予約入札データを受け付けて管理する予約受付装置と、同予約入札データを記憶するファイルサーバ等の記憶装置とを備え、買参人が同予約受付装置から入力した予約入札データを同記憶装置に記憶しておき、前記せり操作端末から行うせりの進行に従って同せり操作端末が、同予約受付装置を介して同記憶装置から次せりに関する予約入札データを取得してせりを行い、予約入力データが入札せり値以上のとき当該予約入札が落札されるようにすることを特徴とした自動せりシステム。

【請求項5】 前記応札端末に、表示部と同表示部の前面に装着したタッチパネルを設け、同表示部に予定されたせりのせり情報を表示し、同タッチパネルから購入希望に該当するせり情報の表示部を指示することにより前記入札データ若しくは予約入力データを入力するようにすることを特徴とした請求項1又は請求項4記載の自動せりシステム。

【請求項6】 前記応札端末、せり操作端末及び予約受付装置は1つのLAN（ローカルエリアネットワーク）で接続することを特徴とした請求項1又は請求項4記載の自動せりシステム。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、花等の卸売り市場等で使用する、せりを機械化して行う操作性の良い自動せりシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】買い手である買参人がせりに参加するときは、せり開始前に予定のせりの下見を行い、購入希望の品目を記憶しておき、その品目がせりにかかったときに入札して購入していた。そのため、購入希望の品目を入札するために、常時全てのレーンを見ていなければならなかった。また、買参人が予約入札を行う場合には、予め予約入札用紙に予約内容を記入して、売り手はその内容をホストマシンに入力していた。そのため、買い手が入札用紙に記入する手間が掛かるばかりでなく、売り手の入力の手間も掛かり、また、入力ミスや入力忘れ等のトラブルの原因ともなっていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記問題点を鑑みなされたもので、特に注意しなくとも購入希望の品目のせり時がわかるとともに、予約入札時には、正確な情報を短時間に入力できる自動せりシステムを構築することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】せり人がせり操作端末から指示して表示するせり情報を見て、買参人が応札端末から入札データを入力して応札することによりせりを行う自動せりシステムにおいて、せりに先だって、複数の同応札端末から予め入力される入札データを受け付けて管理する予約受付装置と、同入札データを記憶するファイルサーバ等の記憶装置とを備えてせり操作端末から行うせりの進行に従って、同せり操作端末が予約受付装置から同入札データを取得して、同入札データの品目が次せりになると、同品目を入力した応札端末に次せりとなったことを知らせるようにすることで、買参人が常時せりの進行を監視していなくても希望の購入品目が入札できるようにする。また、買参人が直接予約受付装置から予約入札データを入力しておき、せり操作端末から行うせりの進行に従って、同予約入札データを取得してせりを行い、予約入力データの入札せり値以上になったとき当該予約入札が落札されるようにして、売り手の入力作業を省き入力ミスや入力忘れを防止する。

【0005】

【発明の実施の形態】せり人がせり操作端末から指示して表示するせり情報を見て、買参人が応札端末から入札データを入力して応札することによりせりを行う自動せりシステムにおいて、せりに先だって、複数の同応札端末から予め入力される入札データを受け付けて管理する予約受付装置と、同入札データを記憶するファイルサーバ等の記憶装置とを備えて、前記せり操作端末から行うせりの進行に従って同せり操作端末が同予約受付装置から同入札データを取得して、同入札データの品目が次せりになると、同品目を入力した応札端末に次せりとなったことを知らせる。

【0006】前記応札端末に表示部を設けて、同表示部に買参人が予め入力した購入希望の品目の入札データを

表示し、前記次せりとなったときはその品目に対応する入札データを点滅、色替え等で表示する。

【0007】前記応札端末にはブザーを設け、前記次せりとなったときは同応札端末のブザーを鳴動する。

【0008】せり人がせり操作端末から指示して表示するせり情報を見て、買参人が応札端末から応札することによりせりを行う自動せりシステムにおいて、複数の同応札端末から予め入力される予約入札データを受け付けて管理する予約受付装置と、同予約入札データを記憶するファイルサーバ等の記憶装置とを備え、買参人が同予約受付装置から入力した予約入札データを同記憶装置に記憶しておき、前記せり操作端末から行うせりの進行に従って同せり操作端末が、同予約受付装置を介して同記憶装置から次せりに関する予約入札データを取得してせりを行い、予約入力データが入札せり値以上のとき当該予約入札が落札されるようにする。

【0009】前記応札端末に、表示部と同表示部の前面に装着したタッチパネルを設け、同表示部に予定されたせりのせり情報を表示し、同タッチパネルから購入希望に該当するせり情報の表示部を指示することにより前記入札データ又は予約入力データを入力するようにする。

【0010】前記応札端末、せり操作端末及び予約受付装置は1つのLAN（ローカルエリアネットワーク）等で接続する。

【0011】

【実施例】図1は、本発明による自動せりシステムの1実施例の概要システムブロック図である。また、図2は、同応札端末の要部ブロック図である。売り手であるせり人が各レーンのせり操作端末2a、2b、・・・から指示して表示するせり情報を見て、買参人が応札端末1のそれぞれの応札端末1a、1b、・・・から入札データを入力して応札することによりせりを行う。買参人は、予め予定のせりの下見を行い、購入希望の品目の入札データを応札端末1a等から入力する。入力された入札データは、予約受付装置3で受け付けて、記憶装置となるファイルサーバ4に記憶する。せり人がせり操作端末2a等から指示してせり情報を表示してせりを進行させる。せりの進行に従ってせり操作端末2a、2b、・・・は、予約受付装置3に要求してファイルサーバ4から前記の入札データを取得して、同入札データの品目が次せりになると、同品目を入力した応札端末1a等に次せりとなったことを知らせる。

【0012】応札端末1には表示部12を設け、制御部14により買参人が予め入力部15から入力した購入希望の品目の品名、数量等の入札データを表示部12に表示しておく。せり操作端末2a等から前記次せりとなったとの知らせがあったときは、その品目に対応する入札データを点滅してフラッシング表示させとか、その部分のみを異なる色で色替えするなどして表示する。あるいは、応札端末1にブザー16を設けておき、次せりとな

ったときはそのブザーを鳴らして買参人に知らせることもできる。

【0013】買参人が予約入札を行いたいときは、応札端末1a等から購入希望の品目の予約入札データを入力する。同予約入札データを予約受付装置3で受け付けて、ファイルサーバ4等に記憶する。せり人がせり操作端末2a等から行うせりの進行に従って、せり操作端末2a等は予約受付装置3を介してファイルサーバ4等に記憶した次せりに関する予約入札データを取得する。その予約入力データが入札せり値以上のとき、当該予約入札が落札される。

【0014】応札端末1には、表示部12とその表示部の前面に装着したタッチパネル11を設けておく。買参人が購入希望の品目の入札データを入力するときには、まず、制御部14により予定されたせりのせり情報を取得して表示部12に表示する。表示部12の前面に設けたタッチパネル11から購入希望に該当するせり情報を表示した部分を指等で指示して、前記入札データ又は予約入力データを入力する。

【0015】応札端末1a、1b、・・・、せり操作端末2a、2b、・・・及び予約受付装置3さらにはファイルサーバ4は、1つのLAN（ローカルエリアネットワーク）10で接続するようにしてシステムを構成することもできる。例えば応札端末1はインターフェイス13を介してLAN10の接続する。なお、本発明はLANで相互接続するものに限らず、公衆電話回線等の各種の情報通信系を使用することができる。

【0016】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載するような効果を奏する。

【0017】せり人がせり操作端末から指示して表示するせり情報を見て、買参人が応札端末から入札データを入力して応札することによりせりを行う自動せりシステムにおいて、せりに先だって、複数の同応札端末から予め入力される入札データを受け付けて管理する予約受付装置と、同入札データを記憶するファイルサーバ等の記憶装置とを備え、前記せり操作端末から行うせりの進行に従って同せり操作端末が同予約受付装置から同入札データを取得して、同入札データの品目が次せりになると、同品目を入力した応札端末に次せりとなったことを知らせるようにすることで、買い手である買参人が商品を見過ごすおそれがなくなり、間違いなく目的の商品を購入することが可能となる。

【0018】前記応札端末に表示部を設け、同表示部に買参人が予め入力した購入希望の品目の入札データを表示し、前記次せりとなったときはその品目に対応する入札データを点滅、色替え等で表示することで、容易に次せりを買参人に知らせることができる。

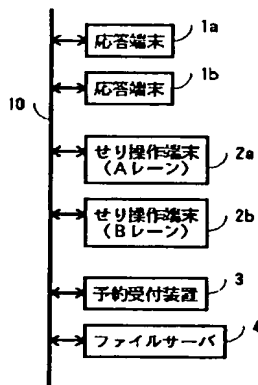
【0019】前記応札端末にはブザーを設け、前記次せりとなったときは同応札端末のブザーを鳴動すること

で、表示部を注目していなくても次せりを知ることができる。

【0020】せり人がせり操作端末から指示して表示するせり情報を見て、買参人が応札端末から応札することによりせりを行う自動せりシステムにおいて、複数の同応札端末から予め入力される予約入札データを受け付けて管理する予約受付装置と、同予約入札データを記憶するファイルサーバ等の記憶装置とを備え、買参人が同予約受付装置から入力した予約入札データを同記憶装置に記憶しておき、前記せり操作端末から行うせりの進行に従って同せり操作端末が、同予約受付装置を介して同記憶装置から次せりに関する予約入札データを取得してせりを行い、予約入力データが入札せり値以上のとき当該予約入札が落札されるようにすることで、予約入札用紙に予約入札データを記入する必要がなくなり、予約内容の記入の手間が省ける。また、改めて売り手による予約入札データの入力を行う必要がなくなり、入力ミスや入力忘れ等のトラブルを未然に防ぐことができる。

【0021】前記応札端末に、表示部と同表示部の前面に装着したタッチパネルを設け、同表示部に予定されたせりのせり情報を表示し、同タッチパネルから購入希望に該当するせり情報の表示部を指示することにより前記入札データ又は予約入力データを入力するようにするこ

【図1】



とで、入札データの入力が容易にかつ間違いなく行える。

【0022】前記応札端末、せり操作端末及び予約受付装置は1つのLAN（ローカルエリアネットワーク）で接続することで、市場の規模に合わせた柔軟な自動せりシステムが容易に構築できる。

【図面の簡単な説明】

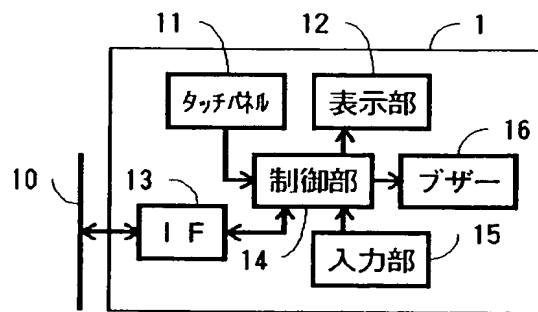
【図1】本発明による自動せりシステムの1実施例の概要システムブロック図である。

10 【図2】同応札端末の要部ブロック図である。

【符号の説明】

- 1 a、1 b 応札端末
- 2 a、2 b セリ操作端末
- 3 予約受付装置
- 4 ファイルサーバ
- 10 LAN（ローカルエリアネットワーク）
- 11 タッチパネル
- 12 表示部
- 13 インターフェイス
- 14 制御部
- 15 入力部
- 16 ブザー

【図2】



NOT AVAILABLE COPY